

北陸

第91期中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日



北陸電力株式会社

- 3 株主の皆さまへ
- 4 志賀原子力発電所2号機における
新規制基準への適合性確認にかかる申請を行いました。
- 6 低炭素社会の実現に向けた取組み
- 7 北陸電力グループの紹介
- 8 事業の概況
- 10 連結財務諸表
- 12 ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ お旅まつり あや
- 14 株主information

表紙

ハレの日を彩なす～北陸の祭り～ お旅まつり

前田家の三代目・前田利常公が隠居した小松城の城下町として栄えた、石川県小松市。城へ神様が「お旅」をして神事を行い、曳山で子供歌舞伎をして華を添えた「お旅まつり」は、脈々と受け継がれ、現在多くの観光客が楽しむ祭りへと発展しています。

おさなち ようそ がのたてそめ ゆいが はまば
※表紙は、「稚模様曾我館染 由比ヶ浜の場」の一場面。



画：寺口 康信

株主の皆さんへ

株主の皆さんには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

当社は、東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、速やかに志賀原子力発電所の緊急安全対策に取り組み、その後も一層の信頼性向上を図るため、様々な安全対策を実施しております。本年8月には、志賀原子力発電所2号機における新規制基準への適合性確認にかかる申請を原子力規制委員会に行いました。また、敷地内シームにつきましては、原子力規制委員会において現在審議がなされております。当社といたしましては、これらの審査に引き続き適切に対応してまいります。

一方、火力発電では、富山新港火力発電所LNG1号機について、平成30年の運転開始に向け、本年9月に地元自治体へ建設の申し入れを行い、10月から準備工事を開始いたしました。また、水力発電では、片貝別又発電所について、平成28年の運転開始を目指し、着実に工事を進めており、風力発電では、三国風力発電所について、当社グループの日本海発電株式会社が、平成29年の運転開始を目指し、建設設計画を進めております。これらにより電源多様化による安定供給の確保および低炭素化社会の実現に貢献してまいります。

なお、今冬の電力需給につきましては、日々の電力供給には支障のない水準を確保できる見通しとなっておりますが、原子力の停止が継続している状況においては、大型電源のトラブルなど不確定要素を考慮すると電力需給は厳しい状況になりますので、引き続き適切な対策を講じてまいります。

現在、電力システム改革など、電気事業を取り巻く経営環境は大きな転換点を迎えております。当社グループは、低廉で良質なエネルギーを安定的にお届けするという社会的使命を果たし、皆さまから「信頼され選択される企業」を目指してまいります。

中間配当につきましては、厳しい収支状況ではありますが、安定配当継続の方針に基づき、1株につき25円とさせていただきました。

株主の皆さんにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成26年11月



取締役会長 永原 功 取締役社長 久和 達

志賀原子力発電所2号機における新規制基準への適合性確認に

当社は、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を受け、「電源確保」及び「冷却機能の確保」、「発電所敷地内への浸水防止」等の観点から、志賀原子力発電所における津波等に対する「安全強化策」を平成25年9月までにほぼ完了しました。

また、平成25年6月以降、新規制基準も踏まえた志賀原子力発電所2号機の「安全性向上施策」の工事を実施しています。

平成26年8月12日、法律に基づき、新規制基準への適合性確認を受けるための申請を原子力規制委員会に行いました。

新規制基準のポイント(平成25年7月8日施行)

(1) 設計基準対策の強化

新たな規制基準では、地震・津波等に対する基準の強化のほか、火山・竜巻等の自然災害に対する対策を求めるなど、これまでの基準を大幅に強化

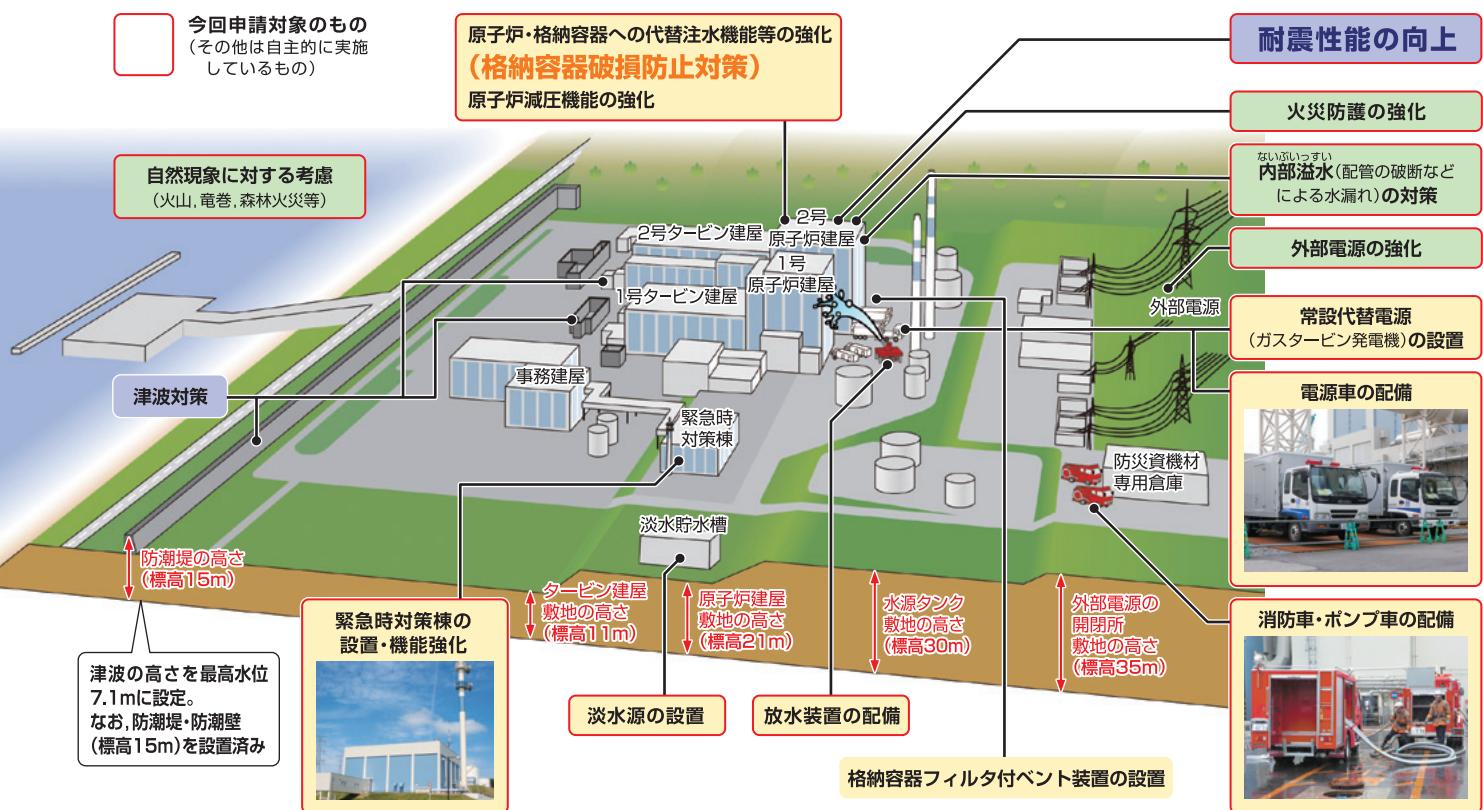
(2) 重大事故等対策の新設

これまで原子力事業者が自主的に実施してきたシビアアクシデント^{※1}対策が重大事故等対策として規制対象に新設

※1:シビアアクシデント…重大事故(炉心の著しい損傷または使用済燃料貯蔵プールに貯蔵する燃料体の著しい損傷)に至るおそれがある事故または重大事故

(3) バックフィット制度

既設の原子力発電所に対しても新たな規制基準への適合を義務化



かかわる申請を行いました。

耐震性能の向上

- 敷地内シームは「将来活動する可能性のある断層等」ではないことを確認し、国へ報告
- 「福浦断層による地震」及び「北海道留萌支庁南部地震(2004年)」を考慮

〈従来〉基準地震動600ガル^{*2}

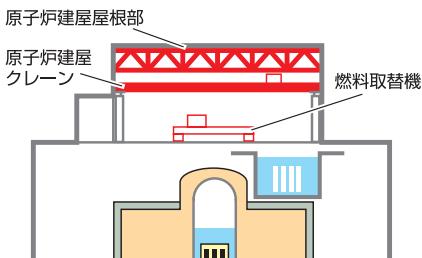


〈今回申請〉基準地震動を1,000ガルに引き上げ



耐震工事を実施中

(耐震工事の例)



上記工事は、耐震安全性をより一層高めるために、平成25年11月から実施

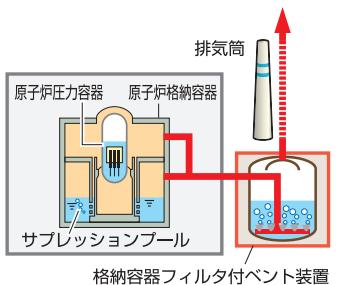
*2:ガル…地震の揺れの強さを表す単位

格納容器破損防止対策

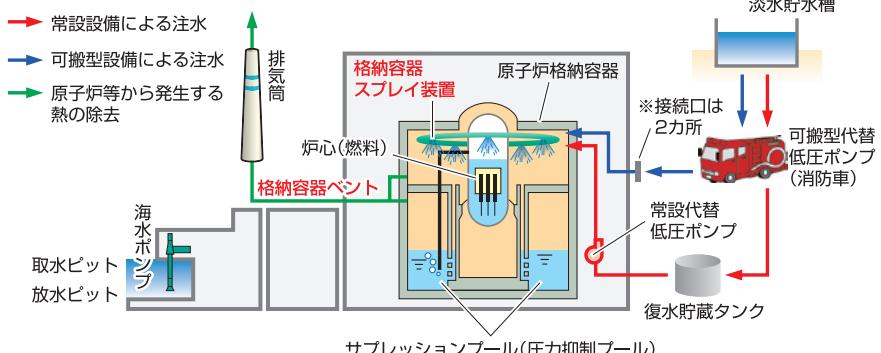
- 常設代替低圧ポンプ・消防車により給水手段を多重化した「**格納容器スプレイ装置**」で格納容器内を冷却
- 東京電力福島第一原子力発電所のような事故時の格納容器からの排気については、サブレッシュンプール(圧力抑制プール)及び格納容器スプレイで放射性物質を大幅に低減し、「**格納容器ベント**」から排気することにより圧力を低減

(参考)格納容器フィルタ付ベント装置

左記の「格納容器スプレイ装置 + 格納容器ベント」に加えて、更なる放射性物質放出低減のため、自主的に設置することとし、現在、設置工事を進めています。



- 常設設備による注水
- 可搬型設備による注水
- 原子炉等から発生する熱の除去



志賀原子力発電所の自主的・継続的な安全性向上に向けた取り組み

志賀原子力発電所では、「自主的・継続的な安全性向上に向けた取り組み(ロードマップ)」を作成し、緊急時対応能力の向上や人材育成、リスク管理の徹底などソフト面における自主的・継続的な安全性向上に努めています。

【各種訓練の実績】

実施年度	実施回数
平成23年度	259回
平成24年度	487回
平成25年度	488回
平成26年度上期	222回
合計	1,456回

緊急時対策棟での訓練



今後とも原子力規制委員会による審査に適切に対応してまいります。

また志賀原子力発電所の安全性をより一層高める対策に継続的に取り組んでまいります。

低炭素社会の実現に向けた取組み

片貝別又発電所の建設状況について

当社は、再生可能エネルギー導入拡大の取組みの一環として、新規中小水力開発を行っており、平成25年度より富山県魚津市の片貝川上流域において、片貝別又発電所の建設工事を進めております。

平成26年度は取水設備、導水路トンネル掘削、水圧管路などの土木工事を中心に行っており、平成28年度の運転開始に向け、ほぼ計画どおり進捗しております。

本開発計画は、北陸の豊富な水資源の有効活用を図るとともに、低炭素社会の実現に貢献するものと考えております。併せて、河川維持放流水の活用、既存設備の改修などにより、水力発電量の拡大を着実に進めてまいります。

〈片貝別又発電所の概要〉

所 在 地	富山県魚津市山女字別又地内
発 電 出 力	4,400kW
発 電 電 力 量	1,740万kWh／年程度
発 電 方 式	水路式
C O ₂ 削 減 量	1.04万t-CO ₂ ／年程度
着 工 時 期	平成25年度
運 転 開 始 時 期	平成28年度

水圧管路～発電所本館工事状況



取水設備工事状況



水圧管路工事状況



北陸電力グループの紹介



環境に優しい次世代のエネルギー

北陸地域のお客さまにクリーンなLNGを
安定的にお届けしております

〒930-0858 富山県富山市牛島町18番7号
TEL(076)441-3730 FAX(076)405-3080
ホームページ <http://www.lnes.co.jp>

会社概要

設立：平成13年8月31日

資本金：2億円

代表者：取締役社長 板谷 康治

主な事業内容

◆LNG(液化天然ガス)の販売

LNG(液化天然ガス)は、クリーンエネルギーとしてエネルギー利用と環境の調和を図る観点から発電用・都市ガス用・工業用に広く利用されており、当社は、北陸地域のお客さまにクリーンなLNGを



配送用タンクローリーの例

安 定 的 に
お 届 け し
て お り ます。

◆サテライト設備のご提案サービス

LNGのご使用には、お客様の敷地内に、貯槽、気化器等より構成されるサテライト設備を設置していただく必要があります。

北陸電力グループの北陸電気工事(株)との連携のもと、サテライト設備の設計、施工、メンテナンスについてお客様に最適なご提案を行っております。



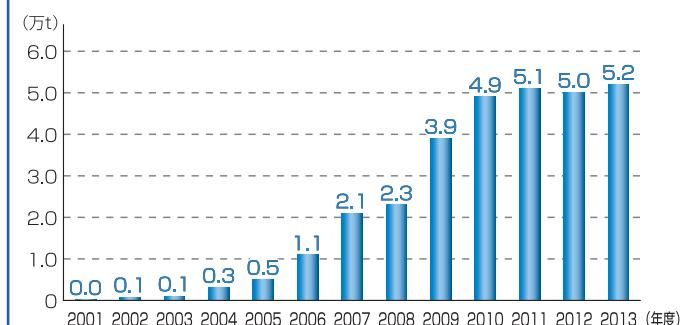
サテライト設備の設置例
写真ご提供:東洋紡株式会社 様

◆LNGの販売拡大

販売量は、事業開始以来、順調に増加しております。

北陸電力(株)富山新港火力発電所LNG1号機の運転開始(平成30年11月予定)後は、富山新港の基地から出荷することを計画しております。これにより、輸送コストの削減、輸送時間の短縮による供給安定性の向上が見込まれることから、更なる販売拡大に取り組んでまいります。

■販売量の推移



事業の概況

(単位：億kWh)

	平成26年度上半期 (A)	平成25年度上半期 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
販 売 電 力 量	131.9	134.4	△2.6	98.1%

(注) 小数第一位未満四捨五入

(単位：億円)

	平成26年度上半期 (A)	平成25年度上半期 (B)	増 減 (A) - (B)	対 比 (A) / (B)
売 上 高 (営 業 収 益)	2,634	2,513	120	104.8%
営 業 利 益	272	224	47	121.2%
経 常 利 益	178	172	6	103.7%
四 半 期 純 利 益	101	87	14	116.4%

(注) 億円未満切捨

収支の状況

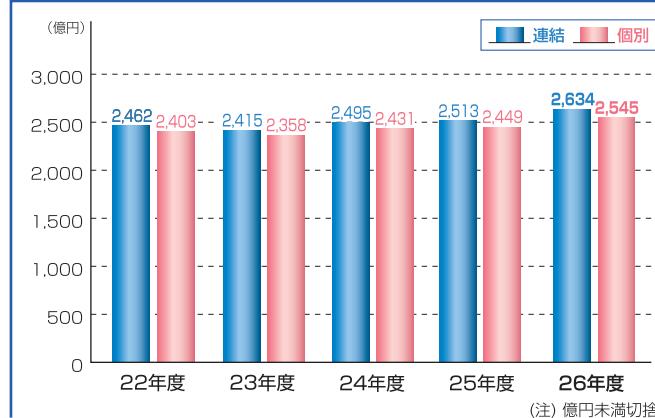
当上半期の我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動はあるものの、雇用情勢や設備投資に改善傾向がみられるなど、緩やかに回復しています。北陸地域においても同様の状況で推移しました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、売上高(営業収益)は、電気事業において再生可能エネルギー発電促進賦課金・交付金の増加や卸電力取引所販売の増加に加え、北陸エルネス(株)を連結の範囲に含めたことなどから前年同期に比べ120億円増の2,634億円となり、これに営業外収益

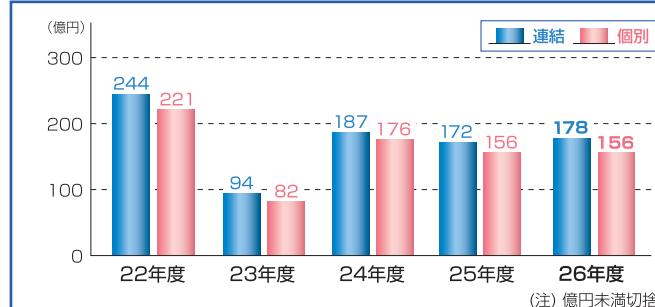
を加えた経常収益は120億円増の2,652億円となりました。

また、経常利益は、電気事業において水力発電量が減少したものの、石炭火力発電所の定期点検日数が前年に比べ少なかったことにより、石油火力の発電量が減少し、燃料費が減少した一方で、修繕費等が増加したため、前年同期に比べ6億円増の178億円と前年同期なりました。これに、渴水準備金を引き当て、法人税等を計上した結果、四半期純利益は前年同期に比べ14億円増の101億円となりました。

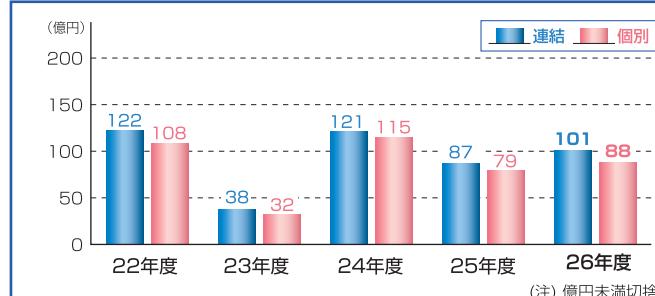
■売上高の推移(上半期)



■経常利益の推移(上半期)



■純利益の推移(上半期)

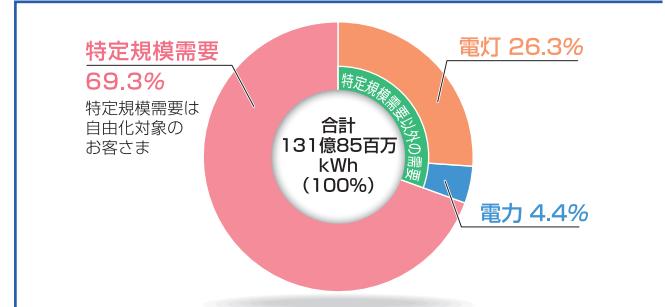


販売の状況

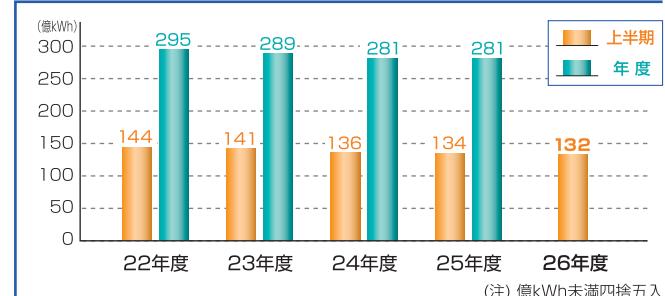
当上半期の販売電力量につきましては、電灯および業務用は、気温影響による冷暖房需要の減少などから、それぞれ、前年同期を下回りました。

産業用その他は、前年同期並みとなりました。この結果、販売電力量は131億85百万キロワット時(うち特定規模需要91億43百万キロワット時)となり、前年同期に比べ、1.9%の減少となりました。

■当上半期販売電力量の構成比



■販売電力量の推移



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資産の部		負債及び純資産の部			
科 目	当第2四半期 連結会計期間 (平成26年9月30日現在)	前連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	科 目		
固定 資 産	11,771	11,603	固定 負 債	9,525	8,923
電気事業固定資産	8,477	8,636	社 債	4,536	4,386
水力発電設備	1,085	1,105	長 期 借 入 金	3,795	3,320
汽力発電設備	1,130	1,128	流 動 負 債	2,390	2,090
原子力発電設備	1,818	1,925	△以外に期限到来の固定負債	1,338	1,009
送 電 設 備	1,672	1,690	短 期 借 入 金	165	158
変 電 設 備	876	878	引 当 金	148	139
配 電 設 備	1,507	1,508	負 債 合 計	12,064	11,153
固定資産仮勘定	575	349			
核 燃 料	1,066	998	株 主 資 本	3,251	3,170
投資その他の資産	1,295	1,338	資 本 金	1,176	1,176
流 動 資 産	3,629	2,797	資 本 剰 余 金	339	339
現金及び預金	2,624	1,846	利 益 剰 余 金	1,768	1,687
受取手形及び売掛金	458	426	自 己 株 式	△33	△32
た な 卸 資 産	248	243	その他の包括利益累計額	84	77
合 計	15,401	14,401	少 数 株 主 持 分	1	0
			純 資 産 合 計	3,337	3,248
			合 計	15,401	14,401

四半期連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費用の部		収益の部			
科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日)	科目		
営業費用	2,361	2,289	営業収益	2,634	2,513
電気事業営業費用	2,282	2,227	電気事業営業収益	2,534	2,437
その他事業営業費用	79	61	その他事業営業収益	99	76
営業利益	(272)	(224)	営業外収益	18	17
営業外費用	111	69	四半期経常収益合計	2,652	2,531
四半期経常費用合計	2,473	2,358			
四半期経常利益	178	172			
渴水準備金引当又は取崩し	8	37			
税金等調整前四半期純利益	170	135			
法人税等	68	48			
四半期純利益	101	87			
(参考)四半期包括利益	108	94			

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	333
税金等調整前四半期純利益	170	135
減価償却費	350	354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△644	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	930	517
社債・借入金等の純増減額	983	569
自己株式の取得・売却	△0	△0
配当金の支払額	△52	△52
現金及び現金同等物の増加額	778	494
現金及び現金同等物の期首残高	1,846	1,163
現金及び現金同等物の四期末残高	2,624	1,657

連結子会社（12社）

- 日本海発電(株)
- 北電産業(株)
- 日本海環境サービス(株)
- 北電技術コンサルタント(株)
- (株)北陸電力リビングサービス
- 北電パートナーサービス(株)
- 北電情報システムサービス(株)
- 北陸エルネス(株)

(平成26年9月30日現在)

持分法適用会社（2社）

- 北陸電気工事(株)
- (株)ケーブルテレビ富山

(平成26年9月30日現在)



上演は祭りの4日間で10回程度。
子どもとは思えない堂々とした立ち回りで魅せる

ハレの日を彩なす ～北陸の祭り～

お旅まつり

長い歴史を誇る祭りは、曳山と子供歌舞伎とともに輝きを放つ

石川県小松市に伝わる「お旅まつり」は、女の子が中心となって曳山の上で歌舞伎を演じる「曳山子供歌舞伎」で有名です。「踊り子（役者）」に選ばれるのがステータスという、この祭りをご紹介します。

神様が神輿に乗ってお城へ旅をした

約350年前、前田家の三代目・前田利常公が隠居していた小松城下は、一大城下町として賑わいを見せていました。その頃に、菅橋神社と本折日吉神社から、神様が神輿に乗って「お旅」をして小松城で神事を行ったのが、お旅まつりの始まりといわれています。曳山子供歌舞伎はそれから約100年後、小松の織物問屋が京都に商いに出た際に長浜で子どもが曳山に乗って歌舞伎を演じる祭りを見て、曳山を作ったのが始まりではないかと考えられています。



菅橋神社、本折日吉神社の神輿は、数年に1回だけ細工町交差点で遭遇する

受け継がれるもの

子どもたちが運営する子供獅子

みこしとざぶ
神輿渡御の後をお供する子供獅子は、以前は男の子だけの参加でしたが、昨今は、女の子も参加しています。中学の最上級生が世話役になって子どもたちだけで運営し、金銭やスケジュールなどを管理。太鼓をたたき、獅子を舞うのは中学生で、小学生は主に笛を担当します。神輿渡御



の前後の日は町内を1軒ずつ巡り、小学校低学年の子や幼稚園児などが「花を打ってください」と花代を稼ぎます。その様はとても微笑ましい、心和むものだそうです。

全国的に珍しい、獅子頭・太鼓を運ぶ漆塗りの立派な櫓(やぐら)



町の若手が総責任者となり、 女の子がキリリと歌舞伎を演ず

中町, 材木町, 京町, 龍助町, 西町, 大文字町, 八日市町, 寺町の8町が曳山を持っていて, 毎年2基ずつもちまわりで子供歌舞伎を上演します。演目選定を含め, 曳山子供歌舞伎の全てを取り仕切るのは, 30~40代の男性で結成された「五人衆」。



歌舞伎に出演する「踊り子」は基本的に小学生の女の子です。選ばれた子は祭りまでの数ヶ月間はほぼ毎日練習を重ねます。そして迎えた本番では, 浄瑠璃と三味線の音をバックに約1時間, 堂々とした踊りや台詞回しを曳山の舞台や花道で演じ, 見物客の喝采を浴びるのです。

曳山は幅約3m, 奥行き約7m, 高さ約5.5~7mの, 金箔が貼られたり漆塗りされたりした立派なもの。大きな特徴は約2mの花道がせり出していることだ(写真は材木町の曳山)

や 250年後も子供歌舞伎を演るために

毎年約20万人の人々が, お旅まつりを観に訪れます。お旅まつりをさらに広く知ってもらうために, 市が曳山の展示などを行う「小松曳山交流館 みよっさ」を平成25年5月にオープンしました。近年の少子化で, さまざまある決まりを守り続けるのは難しくなっていますが, これから250年に向かって, お旅

まつりは確かに進んでいくのです。

毎年1日だけ8基が町を移動し, すべての曳山がそろう「曳山八基曳揃え」。ライトアップされた中の子供歌舞伎は圧巻



若い衆が各踊り子の担当につき, 道中お練りの時に傘を差す

Interview 祭りを語る

ソフトとハードがそろった,
素晴らしい芸術です



私は, 曳山子供歌舞伎の案内人を務めています。曳山を持つ町で女の子がいる家庭は, やはり皆踊り子をさせたい, と願っていますよ。自分の町に上演の順番が回ってくるのは4年に一度しかないので, 子供歌舞伎に出られるのは一生に一度。オーディションを経て選ばれ, 保護者にとっても自慢になるので, 踊り子は誇りに思って参加しています。子供歌舞伎というソフトと曳山というハード, どちらも兼ね備えたこの芸術は全国でも稀だと思うのです。250年も続いてきたのだから, 250年先まで啓蒙し続けたい。その任を楽しく担いながら, これからも精力的に活動していきます。



小松市文化協会 理事長
せき ど まさを
関戸 昌郎さん

開催地 石川県小松市

開催日 5月15日を中心とした
土日を含んだ4日間

お問い合わせ (一社)こまつ観光物産ネットワーク
TEL:0761-21-8208
FAX:0761-21-8218



株主information

A 100株未満の株式をお持ちの株主さまへ

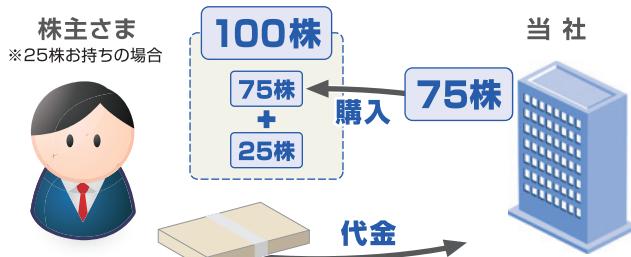
当社は100株を1単元としており、市場で売買したり、株主総会で議決権を行使したりするためには、100株単位にしていただく必要があります。このため、当社は以下の制度をご用意しております。手数料は無料としておりますので是非ご活用ください。

※証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料がかかる場合があります。

■ 単元未満株式の買取制度



■ 単元未満株式の買増制度



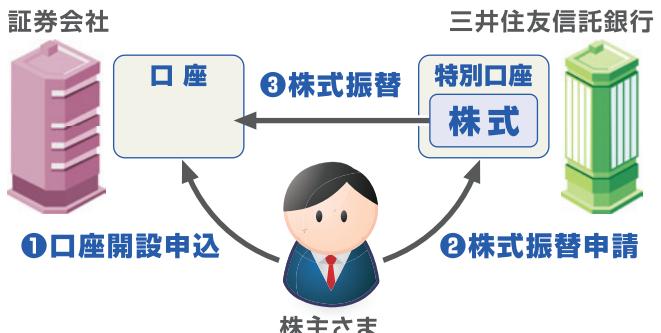
株主さまがご所有の単元未満株式を1単元(100株)にしたい場合、当社から単元未満株式を購入できる制度です。

B 証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

平成21年の株券電子化により、株主さまの権利は電子的に証券会社の口座で管理されることになりました。それまでに証券会社に口座をお持ちでない株主さまの株式につきましては、その権利を確保するために、当社は三井住友信託銀行に「特別口座」を開設して株式を管理しております。

この特別口座の株式につきましては、売買や譲渡(贈与など)ができません。(単元未満株式の買取・買増制度はご利用いただけます。)

このため、証券会社にご本人名義の口座を開設され、特別口座から株式の振替手続きをされることをおすすめいたします。



A B Cのお手続きのお問い合わせ先

〈証券会社に口座をお持ちの株主さま〉

口座を開設された証券会社にお申し出ください

〈証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座株主さま)〉

三井住友信託銀行 証券代行部にお申し出ください

0120-782-031

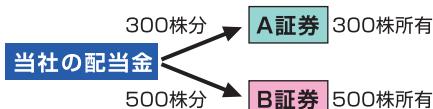
◎ 配当金を「配当金領収証」でお受け取りの株主さまへ

■配当金のお受け取り方法を口座振込にすることができます。

配当金を郵便局等にお受け取りに行く必要がなく、また、お受け取り忘れの心配がありません。(※)
口座振込には以下3つの方法があります。是非ご利用ください。

※配当金領収証に記載された支払期間(支払開始日から約1か月間)が過ぎた場合は、お受け取りに別途手続きが必要になります。

- ①ご所有のすべての株式の配当金をお取引の証券会社の口座で受け取る方法
《株式数比例配分方式》



- ※複数の証券会社に分散してご所有の場合は、証券会社ごとのご所有株式数に応じた配当金がそれぞれの口座に入金されます。
※特別口座に株式をご所有の場合は、この方法はご利用になれません。
※少額投資非課税口座(NISA口座)をお持ちの方はこの方法になります。

- ②ご所有のすべての株式の配当金をあらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座で受け取る方法
《登録配当金受領口座方式》



- ※1つの銘柄について手続きを行えば、自動的に他の銘柄にも適用されます。
※ゆうちょ銀行の口座は指定できません。

- ③ご所有の銘柄ごとに銀行等の口座を指定し配当金を受け取る方法
《個別銘柄指定方式》



- ※銘柄ごとにお手続きが必要です。

■当社株価(月末終値)および出来高の推移



株主information

会社概要

(平成26年9月30日現在)

■設立年月日	昭和26年5月1日
■資本金	1,176億4,154万9,080円
■発行可能株式総数	4億株
■発行済株式総数	2億1,033万3,694株
■販売区域	富山県、石川県、福井県(一部を除く)、岐阜県の一部
■従業員数	4,974名(出向者等を除く)
■供給設備	
○発電所	
水力	129か所 出力／191.3万kW
火力	6か所 出力／440.0万kW
原子力	1か所 出力／174.6万kW*
新規ギ	6か所 出力／ 0.8万kW
計	142か所 出力／806.7万kW
※：志賀2号機において、整流板を設置して運転の場合	
○送電線	電線路こう長 3,329km
○変電所	202か所 出力／3,001万kVA
○配電線	電線延長 12万1,816km

■主要事業所

本店	富山市牛島町15番1号
地域共生本部	金沢市下本多町六番丁11番地
原子力本部	石川県羽咋郡志賀町高浜町二13番地21
富山支店	富山市牛島町13番15号
高岡支社	高岡市広小路7番15号
魚津支社	魚津市新金屋一丁目12番12号
石川支店	金沢市下本多町六番丁11番地
七尾支社	七尾市三島町61の7
小松支社	小松市栄町25の1
福井支店	福井市日之出一丁目4番1号
丹南支社	越前市新町10字東野末1の6
東京支社	東京都港区虎ノ門二丁目8番1号 虎の門電気ビルディング6階

役員

(平成26年9月30日現在)

取締役会長 永原 功	常勤監査役 高桑 幸一
取締役社長 久和 進	常勤監査役 深見 隆昌
取締役副社長 堀 祐一	監査役 深山 彬
取締役副社長 三鍋 光昭	監査役 川田 達男
取締役副社長 金井 豊	監査役 高木 繁雄
常務取締役 赤丸 準一	
常務取締役 矢野 茂	
常務取締役 堀田 正之	
常務取締役 西野 彰純	
常務取締役 長谷川 俊行	
常務取締役 尾島 志朗	

株主メモ

●事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
●定時株主総会	6月
●配当金の	期末配当金 3月31日
受領株主確定日	中間配当金 9月30日
●単元株式数	100株
●証券コード	9505
●公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。 (http://www.rikuden.co.jp/)

●株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〔郵便物ご送付先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔お問い合わせ先〕	0120-782-031
〔ホームページ〕	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式に関するお手続きおよびお問い合わせ先について

- <証券会社に口座を開設されている株主さま>
口座を開設された証券会社にお申出ください
- <証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座株主さま)>
三井住友信託銀行 証券代行部にお申出ください



〒930-8686 富山市牛島町15番1号
電話 076-441-2511(代表)
<http://www.rikuden.co.jp/>
発行／総務部株式チーム 平成26年11月

